

# 地域とともに成長する学校へ

## 赤岡中学校コミュニティスクールの取り組み



### 生徒に変化が生まれた

赤岡中学校では生徒会でアンケートを行い、今夏の赤岡・吉川で残したいものは何ですか?「10年後の赤岡・吉川をどのようにしたいですか?」と皆に意見を求めました。

2月に行われた推進委員会には生徒会も参加して、話し合いが行われました。その席で、地域の方から「よくあるお祭りや踊り、地域の偉人のことを伝えたい」「学力を身に付け挨拶のできる大人になつてもらいたい」「中学生はどんなことを考えているだろう?」などの意見が出されました。

生徒の一人は、「地域の方から『子どもの元気な声を聞くのが一番うれしい。子どもや人口を増やすために将来もこの町に住みたいと思いますか?』と聞かれて、私たちはまだそういうことをきちんと考えていなかったのです。すぐに返事が出来なかった。これからは」と感想を述べています。同時に「お

学校運営協議会制度を導入した学校のことをコミュニティスクールと言います。これは地域の公立学校の運営に住民の声を生かす仕組みとして、平成16度の法律改正によって生まれた新しい学校のスタイルです。全ての公立学校は何年か先にはコミュニティスクールとなるのが義務付けられています。

学校運営協議会は、校長の学校運営方針を承認するとともに、市町村教育委員会や校長に意見を述べることができ、学校運営への必要な支援を協議します。香南市では、赤岡小学校がすでに導入。来年度からは野市小学校と赤岡中学校が導入する予定です。実際どのような取り組みで進められているかを赤岡中学校で伺いました。

■担当/広報編集委員 井上桂子

祭りの活性化という点で、神祭の復活や絵金祭りの提灯付けや清掃作業を手伝ってもらいたいという声があったので、生徒会でボランティアを募集して催しに参加したい」と考えました。

これを踏まえて、執行部が絵金祭りのボランティアを募集したところ、1年生の複数が名乗りを上げ、当日のごみ箱の組み立てやテントなどの運搬に汗を流したという事です。ほかに吹奏楽コンクールや「赤岡町解放の祭り」で楽器の運搬を手伝ったり、校内の清掃を進んで行ったりと、生徒の中に「小学校で地域の方にお世話になったので、お返しをしたい。」という気持ちが生え、スパーボランティアたちが育ってきているようです。

### コミュニティスクールへホップ・ステップ・ジャンプ!

8月28日(火)には推進委員と先生が参加して研修会が行われました。講師の中土佐町立上ノ加江小



▲研修会で事例に聴き入ります

学校の黒瀬忠行校長は、これまでも久礼中、大川小中、神谷小中で「コミュニティスクールを導入してきた方です。研修会では、学校運営協議会の主な役割や地域と協働することの意義すでに導入された学校のいくつかの事例を話され、「地域とともにある学校」の実現へのヒントをいくつも与えてくれました。参加者は具体的なイメージを持つことができたと言います。

- 開設日 毎週日曜日
- 開設時間 13時~16時
- 場所 夜須町 西町集会所 (香南市夜須町坪井438-1)
- 実施主体 よりあいに「家」(竹島宅)
- 参加申込み ☎0887-1551432-1
- 問い合わせ ☎090-14977-0554 (斉藤)

《広報へのメール》  
kouhou@city.kochi-konan.lg.jp  
《香南市のホームページ》  
http://www.city.kochi-konan.lg.jp

広報がスマホで読める!

**マチイロ**

アプリダウンロードで最新号の配信を通知!

**Kochi ebooks**

高知県の情報ポータルサイト

出会い・結婚の相談窓口  
よりあいにこ家

結婚を望む独身男女、またはその親族などから結婚に関する相談について対応を行う「出会い・結婚の相談窓口」を夜須町の「よりあいにこ家(や)」が主体となり、昨年度から「香南市恠い・めぐりあい応援事業補助金」を活用し、開設しています。

「結婚したいけれど出会いの場がない」「婚活イベントに参加するのは恥ずかしい」など、お悩みはありませんか? まずはお気軽にご相談ください。